

令和8年度 山口県私立学校教育功労者表彰に係る受賞者一覧

○校種:高等学校等

(※年齢は6月4日現在)

所属	職名	氏名	性別	年齢
学校法人河野学園 (下関短期大学附属高等学校)(下関市)	事務局長	すぎはら あつし 杉原 淳	男	62
<p>昭和57年に河野学園に奉職し、経理課長、事務局次長、高等学校事務長として学校運営に携わり、44年の長きにわたり私学教育の振興に尽力してきた。</p> <p>特に、高等学校事務長に就任してからは、経理業務の経験を基盤に、給与・会計等のソフトの導入や事務室の一元化により業務の効率化を推進するとともに、施設設備の整備や日常的な管理業務においても中心的な役割を果たした。</p> <p>同窓会とも良好な関係を構築し、密接な連携のもと、学校行事の円滑な遂行に努めた。</p> <p>学園では、平成25年・26年に本館・体育館の耐震工事を完了するとともに、普通教室等への冷暖房設備の設置や図書館のアスベスト除去、蛍光灯のLED化などの整備を計画的に行った。さらには、情報教育を推進するため全教室へ電子黒板を設置し、平成30年には、卒業時に調理師免許が取得できるようになった調理科において、より高度な技術を習得できるよう調理室も新設した。</p> <p>杉原氏は、こうした取組を中心となって進め、快適で働きやすい教育・職場環境づくりに大きく貢献するとともに、「よりわかる授業」の推進にも寄与した。</p> <p>また、学園の将来像を見据えた中期計画(令和4年度～令和8年度)の策定にも携わり、同計画に掲げる「生徒確保」や「教育の質」、「生徒支援」などの重点領域を踏まえた組織的・計画的な学校運営の推進に貢献した。</p> <p>このような同氏の真摯な姿勢と業務への熱心な取組が評価され、今年度からは、学園の経営全般を取り仕切る事務局長に登用され、少子化時代の厳しい経営環境の中での学校のあるべき姿を明確化しつつ、新たな中期計画の策定に着手している。</p> <p>加えて、令和7年度からは、法人会計や学校運営に精通した立場から評議員に就任し、理事会に対する監視・監督という重責も担っている。</p>				

所属	職名	氏名	性別	年齢
学校法人萩光塩学院 萩光塩学院中学校・高等学校(萩市)	校長	なかむら やすみち 中村 柔道	男	56
<p>平成9年に母校である萩光塩学院小学校に奉職し、中学校及び高等学校での勤務を経て、平成26年からは萩光塩学院中学校・高等学校校長として、29年にわたって私学教育の振興に尽力してきた。</p> <p>萩光塩学院は、キリスト教の精神に基づき、「世の光 地の塩」を建学の精神とし、世の中や人のために役立ち、地域貢献できる人材育成を目指している。中村氏もその精神に沿って愛あふれる指導を行った。</p> <p>小学校では、学校行事の企画・立案等を通じて教育活動の充実に努める一方で、「県内唯一の私立小学校の休校」に直面し、中学校・高等学校の生徒数の減少も踏まえ、「中高の男女共学化」を提案・主導して、これを実現へと導いた。</p> <p>高等学校では生徒指導主任を務め、厳しさの中にも温かみのある指導を実践したことで、生徒や保護者からの厚い信頼を得ることとなった。また、多くの課題を抱えていた同窓会の事務局を担当し、小学校と中学校・高等学校の同窓会の合併を実現するとともに、組織運営の立て直しにも尽力するなど多大な成果を挙げた。</p> <p>こうした取組により、同氏への評価は着実に高まり、校内でのリーダーとしての期待を一身に担うこととなった。かくして平成26年には、若くして校長に抜擢されるに至った。校長就任後は、直ちに耐震化のための体育館及び本館校舎の建替えに着手し、体育館には最新の床材やLED照明を、本館校舎にはWi-Fi環境や電子黒板、タブレット端末等の先進的設備を導入するなど、安心・安全で時代に即した教育環境の構築に力を尽くした。</p> <p>また、生徒確保の観点から、高等学校におけるコース制の見直しをはじめ、ダンス部や女子硬式野球部の創設、奨学金制度の拡充、遠隔地からの受入れに対応した寮の整備等を進めるとともに、積極的な大学訪問による高大連携の強化や国内外の姉妹校等との研修・交流の導入など、新たな施策を次々と打ち出し、特色ある学校づくりを推進した。</p> <p>その結果、少子化が深刻化する中であっても、生徒数は校長就任前と比較して着実に増加しており、安定的な学校運営に大きく貢献した。</p> <p>さらに、学院の理事として法人運営にも関与し、令和7年6月からは代表業務執行理事として学院全体の経営改革と教育環境の充実にに向けた諸施策を推進するなど、その功績は誠に顕著である。</p>				